

平成23年度 第1回  
発注企業動向調査  
結果報告書

平成23年6月

公益財団法人京都産業21

# 1. 調査概要について

- (1) 調査目的 財団に登録する発注企業の動向を把握し、情報として提供することで、府内の中小企業の経営計画策定の一助とするとともに、より効果的な受注活動等の促進を図り、併せて財団における取引あっせん業務の円滑化を図る。
- (2) 調査対象企業 財団に登録する機械金属関連発注企業 162 社
- (3) 調査時期 平成23年3月末現在 \* 調査回収締切:5月24日
- (4) 調査回収企業数 93 社(回収率: 57.4 %)
- 内訳 金属製品 14社(15.1%) 一般機器 35社(37.6%) 電気機器 23社(24.7%)  
 輸送用機器 7社(7.5%) 精密機器 14社(15.1%)

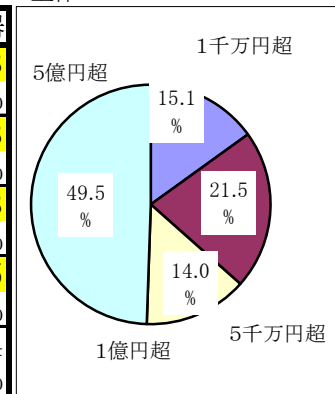
## 【業種別資本金別回収企業数】

※上段:企業数、下段:比率割合

	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
1千万円超	14	2	7	1	1	3
5千万円以下	15.1%	14.3%	20.0%	4.3%	14.3%	21.4%
5千万円超	20	4	7	5	1	3
1億円以下	21.5%	28.6%	20.0%	21.7%	14.3%	21.4%
1億円超	13	0	7	2	1	3
5億円以下	14.0%	0.0%	20.0%	8.7%	14.3%	21.4%
5億円超	46	8	14	15	4	5
	49.5%	57.1%	40.0%	65.2%	57.1%	35.7%
合計	93	14	35	23	7	14
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## 【業種別資本金別回収企業数】

全体



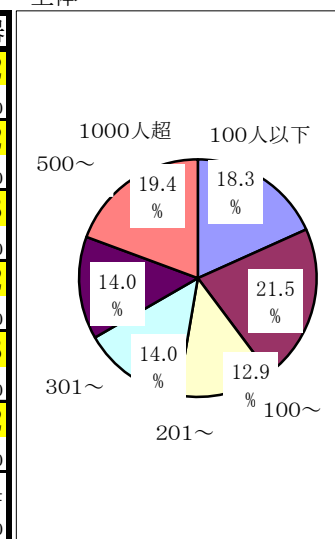
## 【業種別従業員別回収企業数】

※上段:企業数、下段:比率割合

	全体	金属製品	一般機械	電気機器	輸送用機器	精密機器
100人以下	17	6	8	0	1	2
	18.3%	42.9%	22.9%	0.0%	14.3%	14.3%
101~	20	3	7	7	1	2
200人	21.5%	7.0%	20.0%	30.4%	14.3%	14.3%
201~	12	2	3	3	1	3
300人	12.9%	14.3%	8.6%	13.0%	14.3%	21.4%
301~	13	0	8	3	0	2
500人	14.0%	0.0%	22.9%	13.0%	0.0%	14.3%
501~	13	2	3	2	3	3
1000人	14.0%	14.3%	8.6%	8.7%	42.9%	21.4%
1000人超	18	1	6	8	1	2
	19.4%	7.1%	17.1%	34.8%	14.3%	14.3%
合計	93	14	35	23	7	14
	100.0%	85.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## 【業種別従業員別回収企業数】

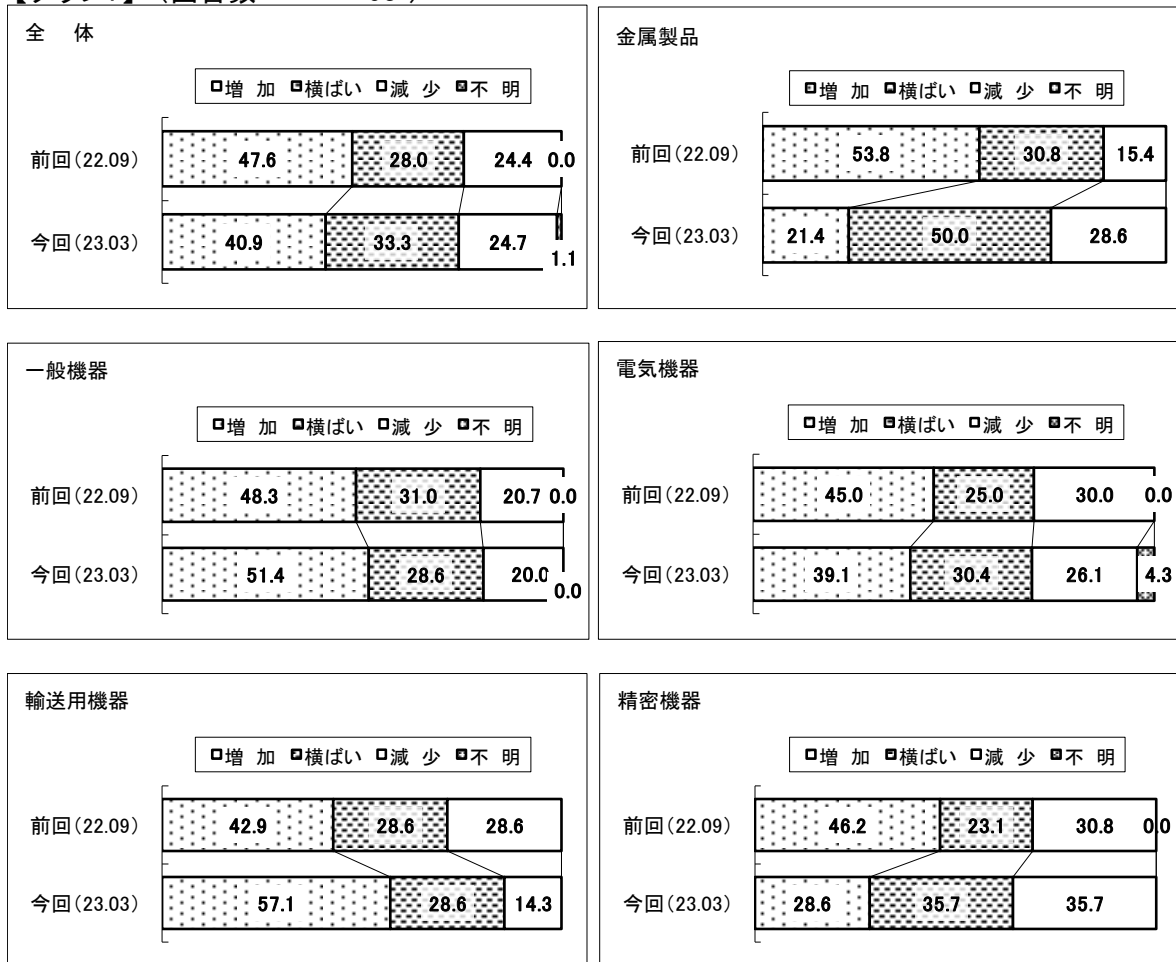
全体



## 2. 売上について

(1) 平成22年度「下期」(22.10～23.03)と平成22年度「上期」(22.04～22.09)の売上額の比較

【グラフ1】(回答数 93)



\*業種別回答数

今回(23.03)	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	38	3	18	9	4	4
横ばい	31	7	10	7	2	5
減少	23	4	7	6	1	5
不明	1	0	0	1	0	0
合計	93	14	35	23	7	14

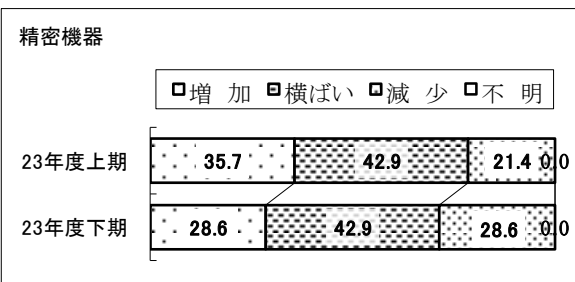
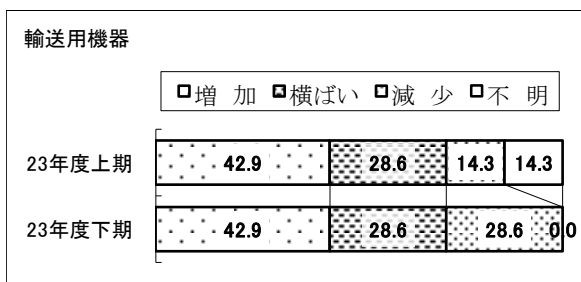
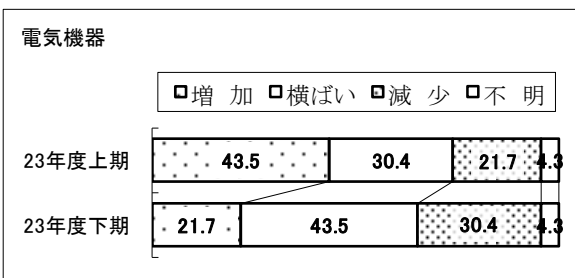
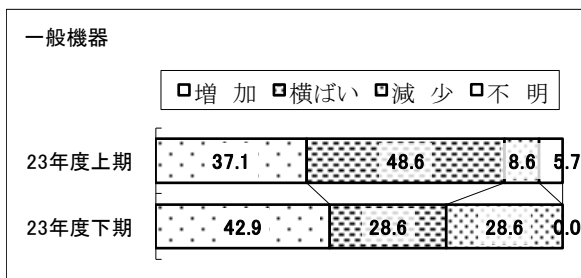
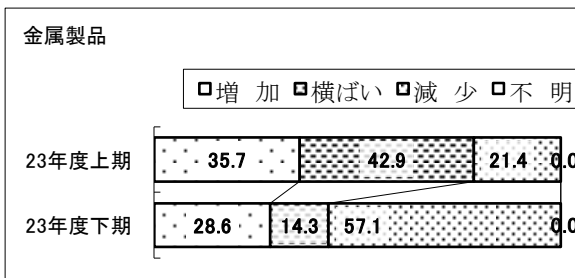
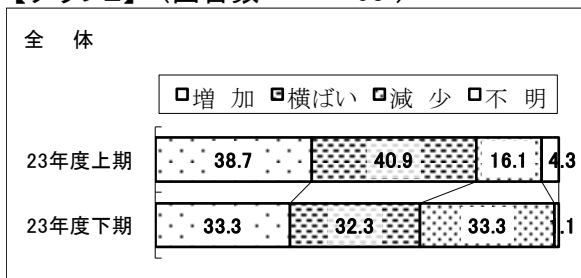
### 【売上状況の比較について】

全体では、前回調査と比較して「増加」が6.7ポイント低下して40.9%となり、「減少」が0.3ポイント微増の24.7%となった。

業種別では、金属製品、電気機器及び精密機器において「増加」とする企業が大きく減少し、また、金属製品及び精密機器では「減少」とする企業が増えた。一方、一般機器及び輸送用機器においては、「増加」とする企業が増えると共に「減少」とする企業が減る結果となった。

(2)23年度の「上期」(23.04～23.09)及び23年度「下期」(23.10～24.03)の売上の見通し

【グラフ2】（回答数 93）



\*業種別回答数

23年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	36	5	13	10	3	5
横ばい	38	6	17	7	2	6
減少	15	3	3	5	1	3
不明	4	0	2	1	1	0
合計	93	14	35	23	7	14

\*業種別回答数

23年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	31	4	15	5	3	4
横ばい	30	2	10	10	2	6
減少	31	8	10	7	2	4
不明	1	0	0	1	0	0
合計	93	14	35	23	7	14

【売上の見通しについて】

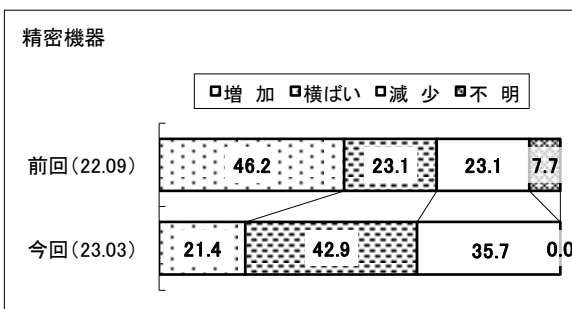
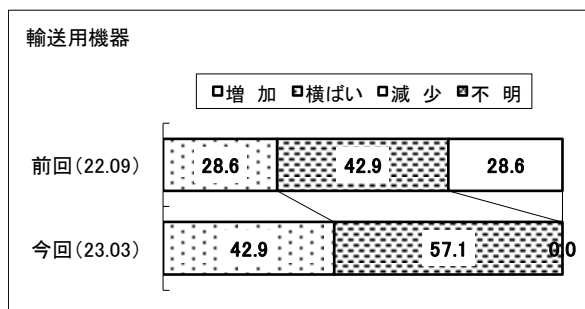
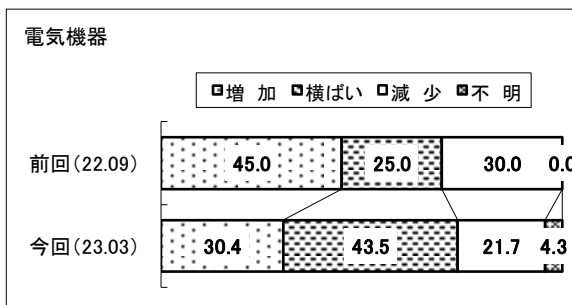
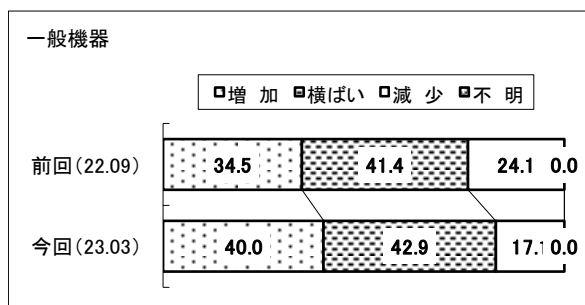
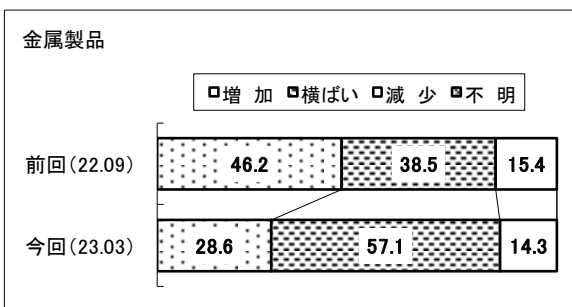
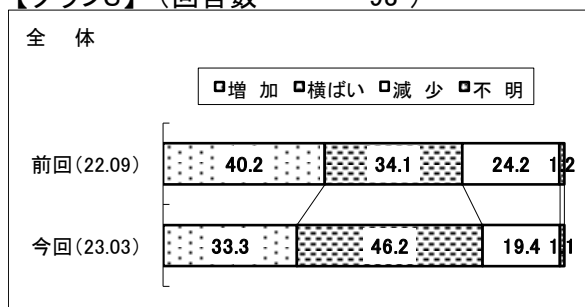
全体では、23年度上期においては「増加」が38.7%に対して、23年度下期においては33.3%と5.4ポイント低下し、「減少」とする企業が23年度下期において33.3%と、23年度上期から17.2ポイント上昇する結果となった。

業種別では、一般機器及び輸送用機器を除くすべての業種において、23年度下期は「増加」を見込む企業が減少した。また、全ての業種において、23年度下期は「減少」を見込む企業が増える結果となった。特に金属製品では、「減少」とする企業が5割を超えた。

### 3. 外注について

(1) 平成22年度「下期」(22.10～23.03)と平成22年度「上期」(22.04～22.09)の外注額の比較

【グラフ3】(回答数 93)



\*業種別回答数

今回(23.03)	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	31	4	14	7	3	3
横ばい	43	8	15	10	4	6
減少	18	2	6	5	0	5
不明	1	0	0	1	0	0
合計	93	14	35	23	7	14

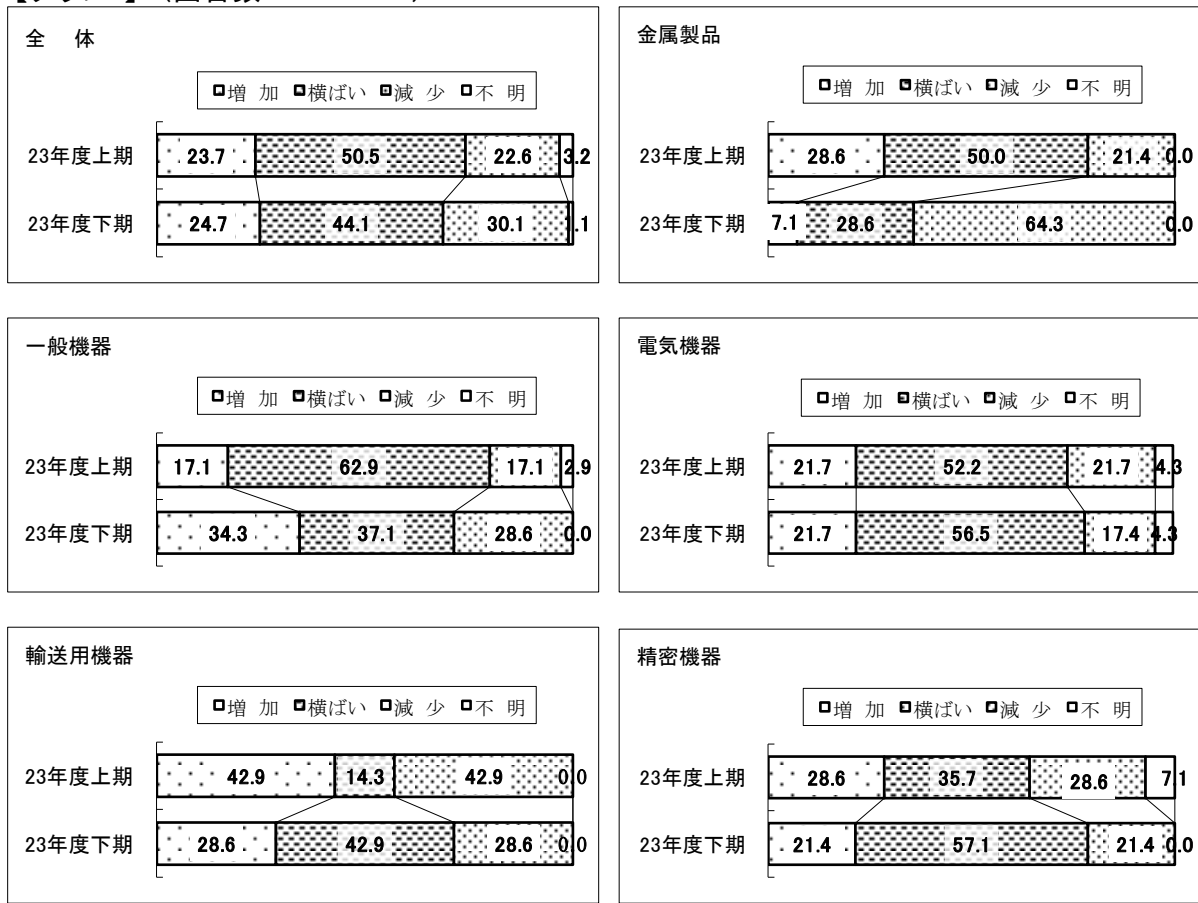
#### 【外注額の比較について】

全体では、前回調査と比較して「増加」が33.3%と6.9ポイント低下し、「減少」は4.8ポイント低下して19.4%となった。

業種別では、一般機器及び輸送用機器を除く全業種において、「増加」とする企業が減ると共に、「横ばい」とする企業が増えた。また、輸送用機器においては、「減少」とする企業が0ポイントとなった。

(2) 23年度の「上期」(23.04～23.09)及び23年度「下期」(23.10～24.03)の外注の見通し

【グラフ4】(回答数 93)



\*業種別回答数

22年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	22	4	6	5	3	4
横ばい	47	7	22	12	1	5
減少	21	3	6	5	3	4
不明	3	0	1	1	0	1
合計	93	14	35	23	7	14

\*業種別回答数

23年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	23	1	12	5	2	3
横ばい	41	4	13	13	3	8
減少	28	9	10	4	2	3
不明	1	0	0	1	0	0
合計	93	14	35	23	7	14

【外注の見通しについて】

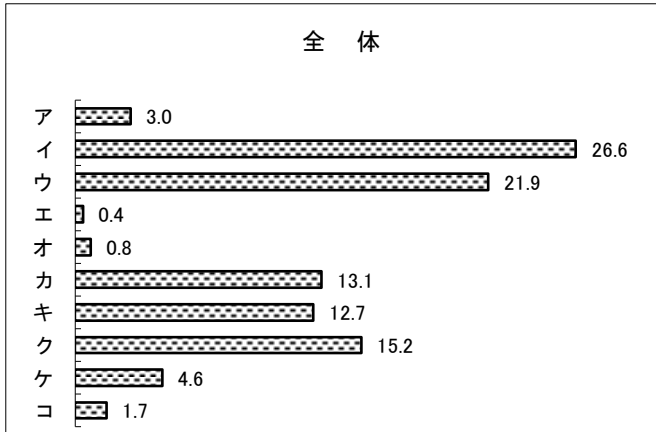
全体では、23年度下期においては「増加」とする企業が24.7%で、23年度上期と比較して1ポイント上昇すると共に、「減少」とする企業が23年度下期で30.1%と、23年度上期と比較し7.5ポイント上昇する結果となった。

業種別では、バラつきがみられるが、23年度下期において一般機器及び電気機器を除く全ての業種で「増加」とする企業が減り、特に金属製品において「減少」を見込む企業が前回の3倍近い64.3%となった。

(3)受注企業に望む能力について

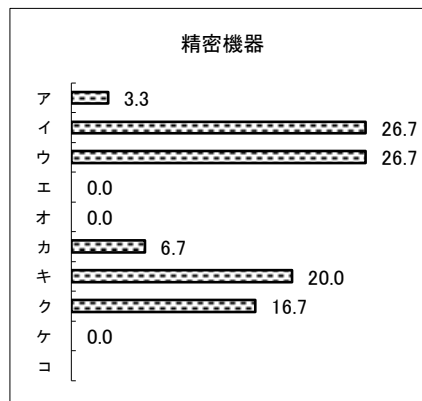
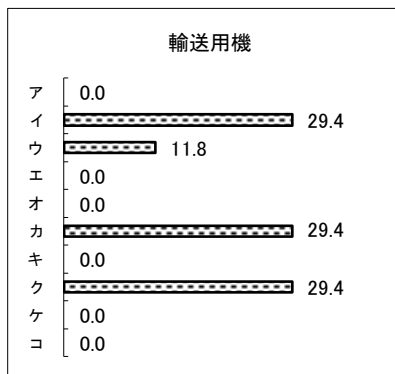
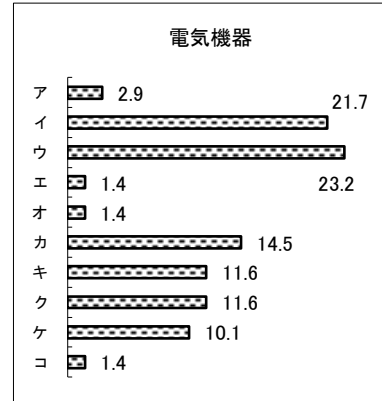
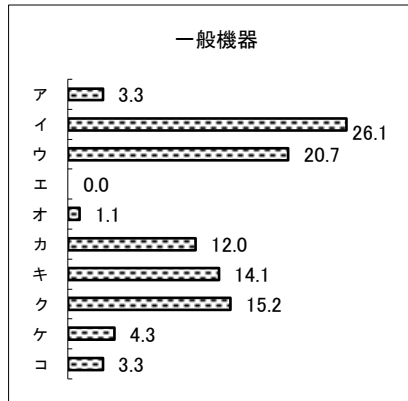
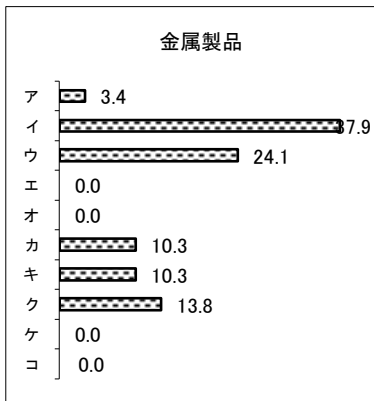
①品質について受注企業に望むこと

【グラフ5】



\* 重複回答(回計数 237)

グラフの項目	回答数
ア. 要求以上の加工精度	7
イ. 要求どおりの加工精度	63
ウ. バラツキの無い品質安定度	52
エ. 新鋭設備の導入	1
オ. 技術者の育成	2
カ. 工程管理の強化	31
キ. 検査体制の強化	30
ク. 改善提案も含めた体制強化	36
ケ. ISOなどの要求	11
コ. その他	4



\* 業種別回答数

金属製品	29
一般機器	92
電気機器	69
輸送用機器	17
精密機器	30
計	237

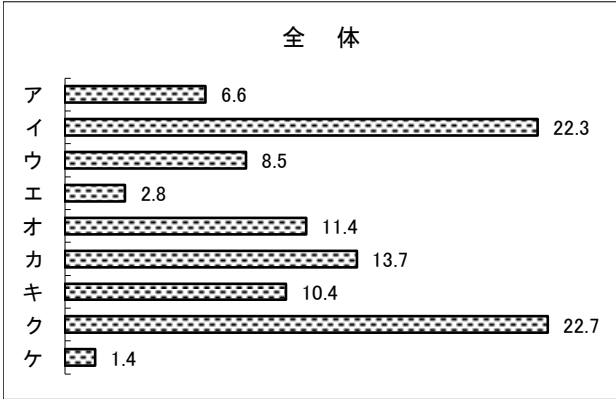
「要求通りの加工精度(イ)」との回答が26.6%と最も多く、次いで「バラツキの無い品質安定度(ウ)」が21.9%、「改善提案も含めた体制強化(ク)」が15.2%、次いで「工程管理の強化(カ)」が13.1%、「検査体制の強化(キ)」が12.7%となっている。

発注企業は、受注企業に対して、高く安定した技術力の発揮を期待しており、精度の確保と品質安定のための積極的な提案、検査体制及び工程管理の強化を重視しているといえる。

(4)受注企業に望む能力について

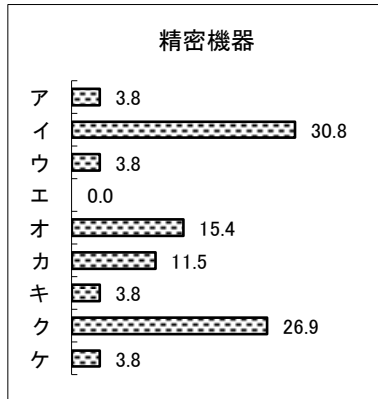
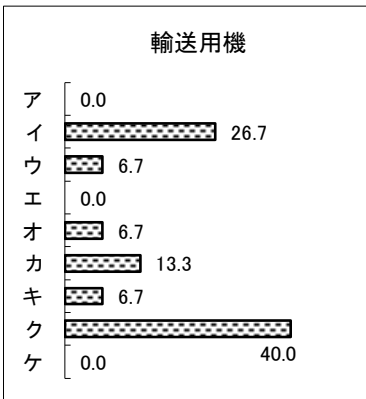
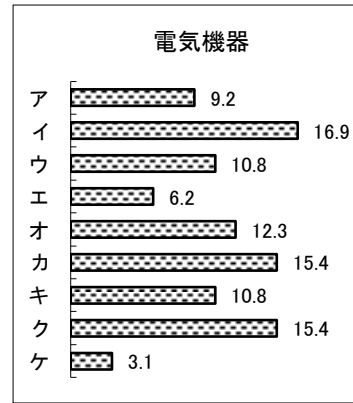
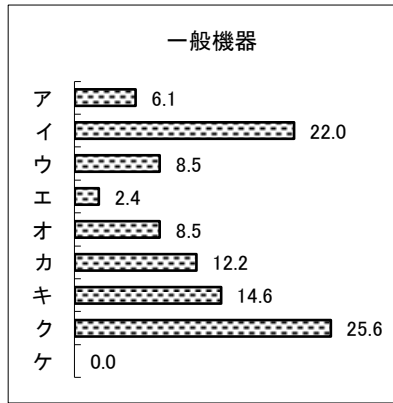
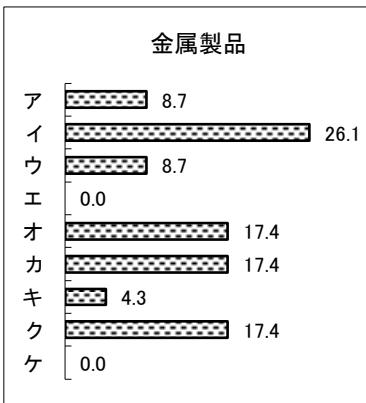
②コストについて受注企業に望むこと

【グラフ6】



\* 重複回答(回答数 211)

グラフの項目	回答数
ア. 要求以上の低コスト対応	14
イ. 発注内容に応じたコスト対応	47
ウ. 適正な見積書作成能力	18
エ. 新鋭設備の導入によるコストダウン	6
オ. 工程管理の強化によるコストダウン	24
カ. 市場価格への対応	29
キ. 海外調達、進出等による低コスト対応	22
ク. 改善提案によるコストダウン	48
ケ. その他	3



\* 業種別回答数

金属製品	23
一般機器	82
電気機器	65
輸送用機器	15
精密機器	26
計	211

「改善提案によるコストダウン(ク)」の回答が22.7%と最も多く、次いで「発注内容に応じたコスト対応(イ)」の回答が22.3%、「市場価格への対応(カ)」が13.7%となっている。多くの企業で前回3番目であった「改善提案によるコストダウン(ク)」を望んでいる結果となった。

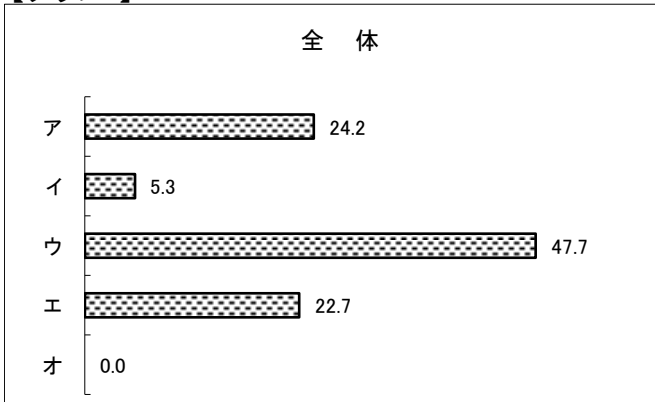
発注企業のコスト意識は変わらず厳しく、受注企業には厳しいコスト低減を求めるだけでなく、コスト低減のための提案にも多く期待している。



(5)受注企業に望む能力について

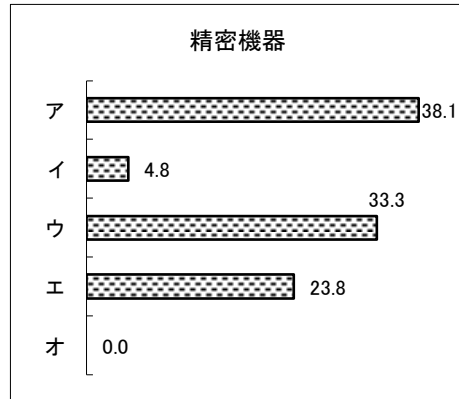
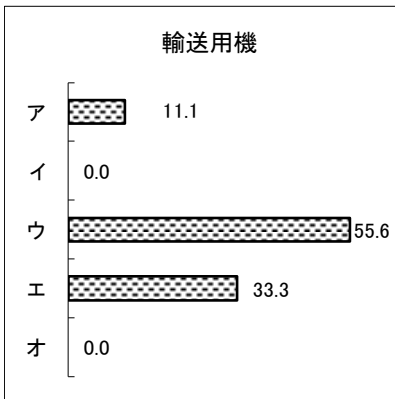
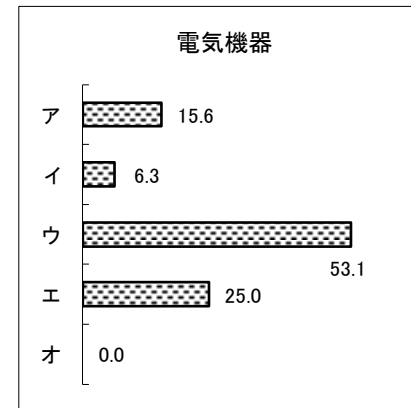
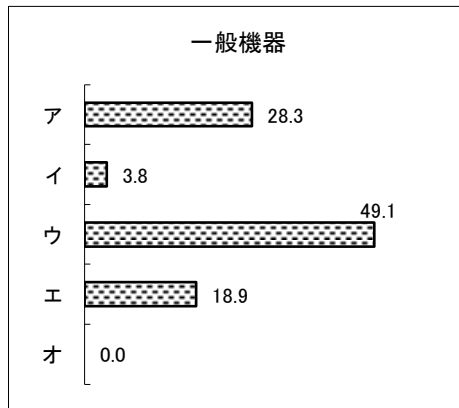
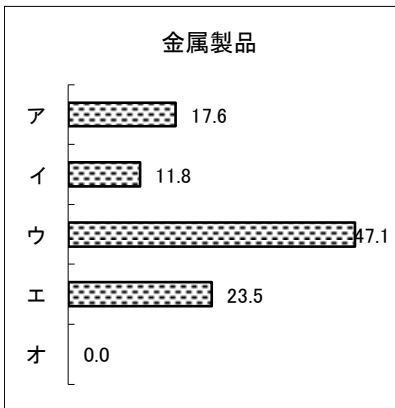
③納期について受注企業に望むこと

【グラフ7】



\* 重複回答(回答数 132)

グラフの項目	回答数
ア. ジャストインタイムへの対応	32
イ. 在庫保有等による対応	7
ウ. 状況に応じた柔軟な納期対応	63
エ. 納期管理、在庫管理能力の強化	30
オ. その他	0



\* 業種別回答数

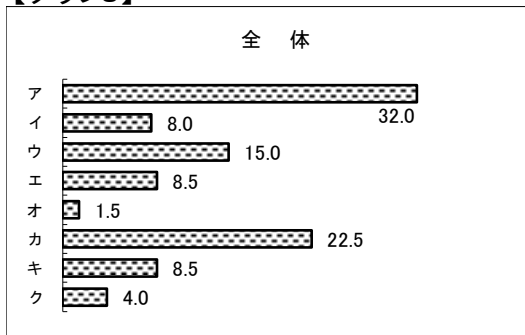
金属製品	17
一般機器	53
電気機器	32
輸送用機器	9
精密機器	21
計	132

「状況に応じた柔軟な納期対応(ウ)」が47.7%と最も高く、次いで「ジャストインタイムへの対応(ア)」が24.2%、「納期管理、在庫管理能力の強化(エ)」が22.7%となった。

受注企業に対して、小回りを利かせた柔軟な納期対応が求められているようである。

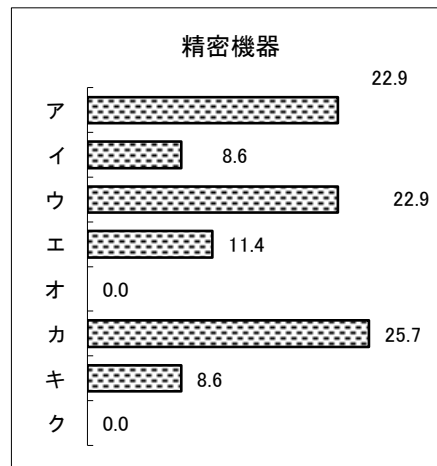
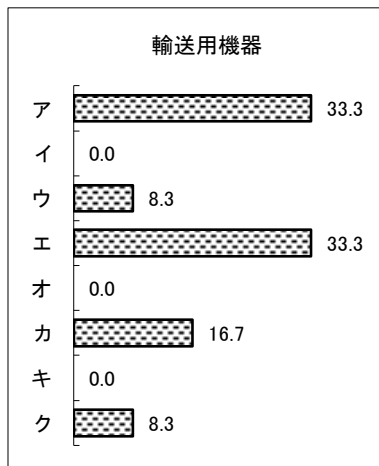
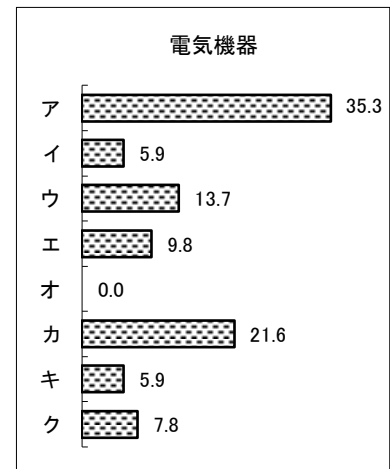
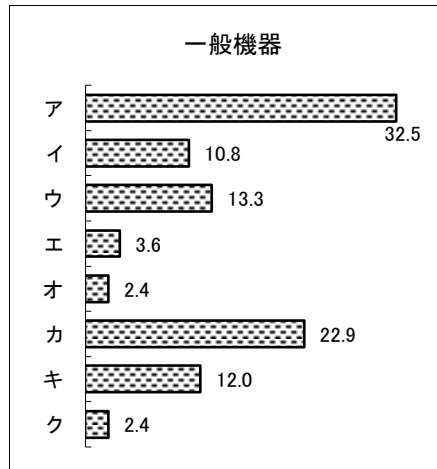
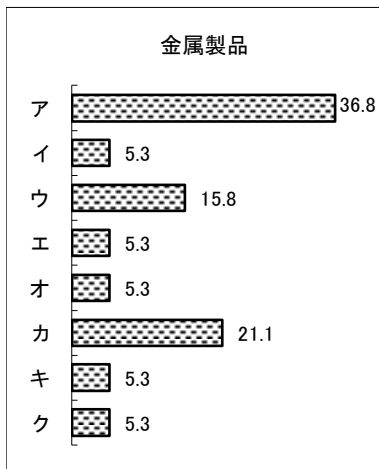
(6) 新規外注先企業を探す場合の情報収集の方法について

【グラフ8】



\* 重複回答(回答数 200)

グラフの項目	回答数
ア. 受注企業からの営業活動	64
イ. 財団(機構)からのあっせん	16
ウ. ビジネスパートナー交流会等の各種展示会見学	30
エ. 情報誌、企業名簿等からの情報収集	17
オ. 説明会を開催し、資材調達情報を公開	3
カ. インターネットホームページで資材調達先を公募	45
キ. 財団(機構)開催による商談会への参加	17
ク. その他(グループ内や他社・取引先からの紹介)	8



\* 業種別回答数

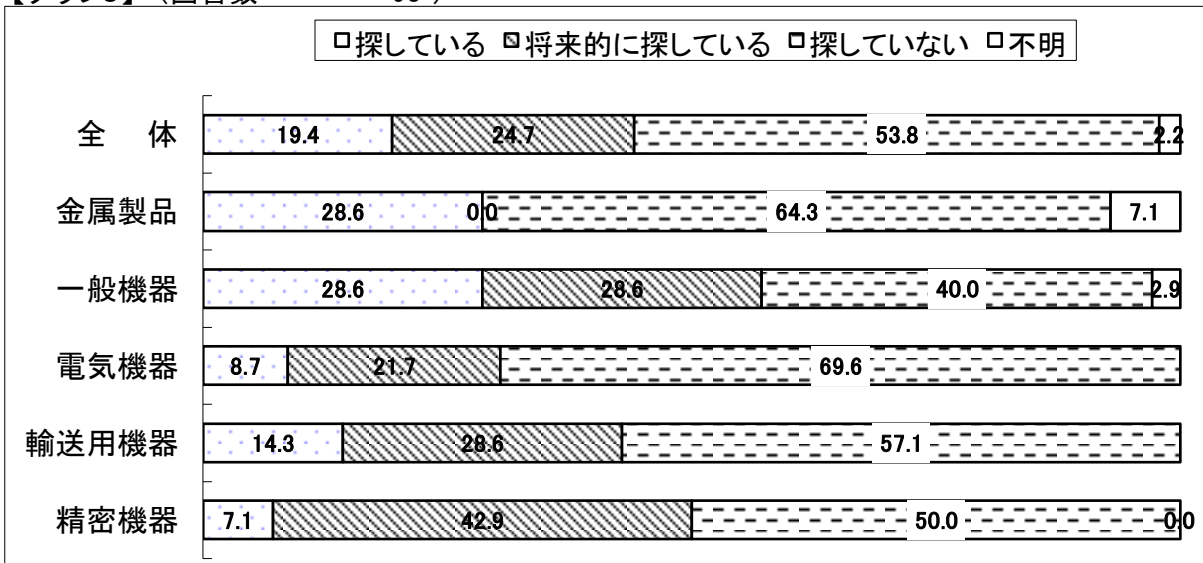
金属製品	19
一般機器	83
電気機器	51
輸送用機器	12
精密機器	35
計	200

「受注企業からの営業活動(ア)」との回答が32.0%と最も多く、次いで「ホームページでの資材調達(カ)」が22.5%、その次に「ビジネスパートナー交流会等の各種展示会見学(ウ)」が15.0%となっており、前回調査と比較して2位と3位が逆転した。

受注企業としては、営業活動の重要性はもとより、各種展示会への出展とあわせ、インターネットを活用しての情報発信がますます重要になってくることがうかがえる。

【(7)新規外注先企業の開拓について】

【グラフ9】（回答数 93）



\*業種別回答数

	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
探している	18	4	10	2	1	1
将来的に探している	23	0	10	5	2	6
探していない	50	9	14	16	4	7
不 明	2	1	1	0	0	0
合計	93	14	35	23	7	14

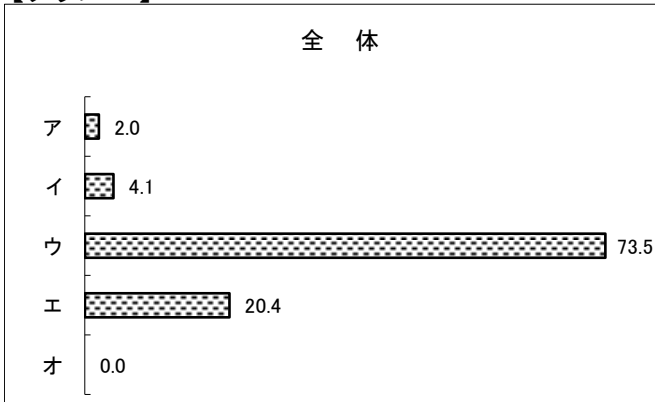
【新規外注先企業の開拓について】

全体として、新規外注先を「探している」(19.4%)と「将来的に探している」(24.7%)を合わせた割合(44.1%)を、「探していない」(53.8%)が9.7ポイント上回り、探していないとする企業は今回も5割を超えている。

業種別では、「将来的に探している」を含め「探している」とする企業は、一般機器と精密機器で5割超となっている。また、前回調査と比較すると、精密機器を除くすべての業種において「探していない」とする企業が減少した。

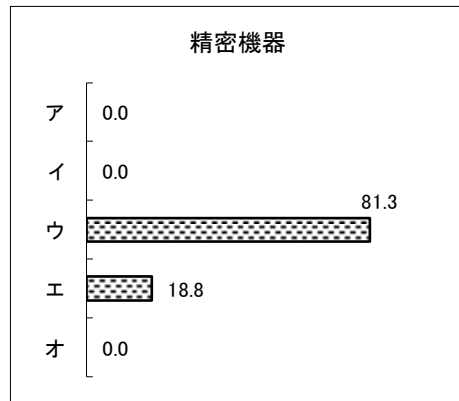
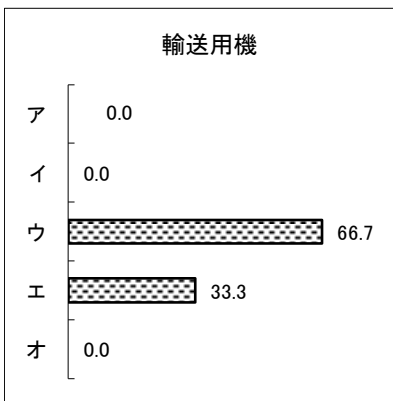
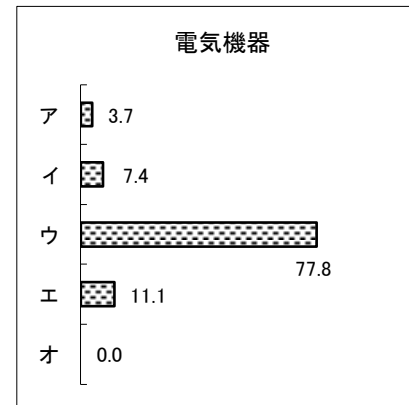
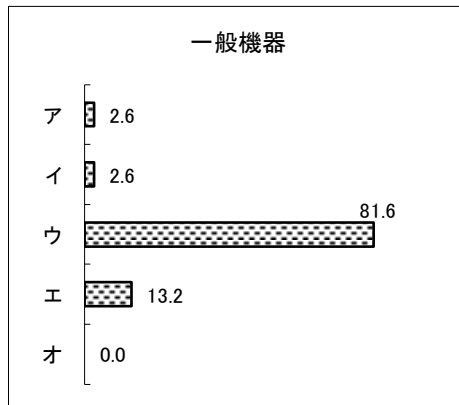
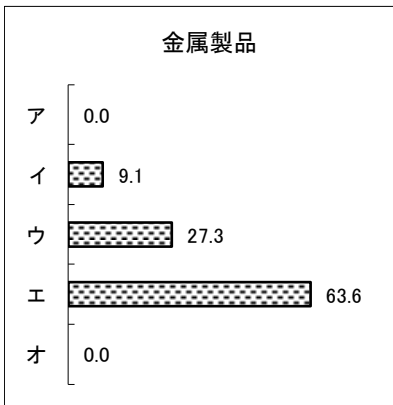
(8) 震災に伴う影響について

【グラフ10】



\* 重複回答(回答数 98)

グラフの項目	回答数
ア. 拠点の損壊	2
イ. 設備・機械の損壊	4
ウ. 部品等の仕入れへの影響	72
エ. 生産・売上の減少	20
オ. その他	0



\* 業種別回答数

金属製品	11
一般機器	38
電気機器	27
輸送用機器	6
精密機器	16
計	98

【震災による影響について】

「部品等の仕入れへの影響(ウ)」が73.5%と圧倒的に高く、次いで「生産・売上への影響(エ)」が20.4%であった。東日本から部品を調達している企業が多く、全ての業種において、今回の震災により部品が入らず、大きな影響が出ていることがみられる結果となった。

## 公益財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134(京都府産業支援センター)

TEL(075)315-9234 / FAX (075)315-9240 E-mail:office@ki21.jp

<http://www.ki21.jp>